



ニューヨーク
補習授業校
学校だより

日本語を話す仲間と 日本語で学ぶ補習校

補習校協育



令和8年(2026年)2月19日

第40号

校長 小島 昇

LI校中高等部生徒会バザー



LI校中高等部生徒会が、保護者の協力を得てバザーを開催しました。昨年まではもちつき大会と同時開催でしたが、今回はバザー単独での開催。準備から販売までバザーに注力することができました。

開始直後には硬い表情で販売をしていた生徒も、接客を繰り返すうちに笑顔でお客さんとコミュニケーションを取るようになり、売り上げを伸ばしていきました。各家庭から提供された「ガレージセール」の物品の中には、破格の値段がつけられた掘り出し物があり、

保護者の皆さんも真剣に品定めをする様子が見られました。また、幼児部や初等部の子どもたちにとっては、普段はなかなかできないお買い物体験の機会となっていました。

今回の収益金と募金は、日本赤十字社に届けることになっています。生徒会活動を応援する保護者会からも、売り上げへのマッチングとしてご寄付をいただきました。



LI校でもW校でも授業日は週に1回しかありませんが、生徒たちは生徒会活動を通して日本語を話す仲間との望ましい人間関係を築いています。

卒業式・卒業を祝う会に向けて

本年度の授業日は4回と卒業式を残すのみとなりました。両地区校では、卒業式や卒業を祝う会に向けての準備や練習を始めています。LI校の幼初等部朝会の後には、年中組から初等部5年生までの在校生が卒園・卒業生に贈る歌の練習をしていました。

「週刊 NY 生活」硬筆書写コンクール春期課題発表

「週刊 NY 生活」の硬筆書写コンクール第61回春期課題の発表がありましたのでお知らせします。落ち着いて丁寧に字を書く機会として挑戦してみませんか。

個人で応募することができますが、いつものように学校に提出していただければ、校長が取りまとめて応募します。幼児の部から高校・一般の部まで部門がありますので、補習校の全員が応募することができます。学校の年度末・年度始め休業がありますので、今回は締め切りが早くなります。学校を通して応募する場合は、**3月7日（土）までに学級担任に提出**してください。

漢字とひらがなの大小比較に気を配り、行の中心に文字が揃うよう、最後まで丁寧に書きます。

お弁当箱を開けると
作ってくれた人の優し
さや温かい真心が伝
わり、有り難さが心
いっぱい広がった。

●小学5・6年の部
縦画は真っ直ぐに書き、文字がマス
の中心におさまるように書きます。

友達と食べるお
べん当の時間は
いつも楽しく笑
顔になります。

●小学3・4年の部
ひらがなの曲線は大きく柔らかく。文
字の「とめ、はね、はらい」をしっかり
書き表しましょう。

学校で友だち
とおべんとう
をたべました

●小学1・2年の部

一点一画の書き表しをよく見ながら、書き始めから書き終わりまで安定した書き振りにするように。

万葉の時代から
人が整えた食には
心が宿ると考えられていた
手書き、文字も同じく
書いた人の心が宿り
受け取る人の心に
静かに根を下ろす。

●高校・一般の部

平仮名の柔らかさの中に漢字の強さが
調和するような意識で書き、文字間にも配
慮をはらいます。

お弁当も手書き、文字
も人の心が形になったも
のです。心を込めて料
理をし、丁寧に書く
ことは、素直な感情
表現へと繋がりります。

●中学の部
鉛筆をしっかりと持ち、正しい姿勢で落
ち着いて、ゆっくり大きな字を書きまし
よう。

おべんとう

●幼児の部

募集要項と各部のお手本、規定応募用紙を本校ホームページの【在校生向けページ > 各種コンクール案内、応募要項】にアップロードしましたので、ご活用ください。

インスタでの情報発信

本年度より本格的に開始したインスタでの情報発信ですが、ご覧いただいている方が増えて嬉しく思っています。フォローいただけていない方は、ぜひこの機会にお願いします！ ⇒ ny_hoshuko

